

# 第3章

# 防衛力整備と予算

## 第1節 令和6（2024）年度の防衛力整備

防衛力整備計画においては、国家防衛戦略に従い、宇宙・サイバー・電磁波を含む全ての領域における能力を有機的に融合し、平時から有事までのあらゆる段階における柔軟かつ戦略的な活動の常時継続的な実施を可能とする多次元統合防衛力を抜本的に強化し、相手の能力と新しい戦い方に着目して、策定から5年後の2027年度までに、わが国への侵攻が生起する場合には、わが国が主たる責任をもって対処し、同盟国などの支援を受けつつ、これを阻止・排除できるようにすることとしている。

国際社会は戦後最大の試練のときを迎え、既存の秩序は深刻な挑戦を受け、新たな危機の時代に突入しているとの基本認識のもと、国家防衛戦略や防衛力整備計画に基づき、防衛力整備計画期間内の防衛力抜本的強化実現

に向け、令和6（2024）年度において必要かつ十分な予算を確保した。

具体的には、防衛力の抜本的強化の7つの分野について、引き続き推進する。スタンド・オフ防衛能力や、統合防空ミサイル防衛能力などの防衛力の中核となる分野の抜本的強化、可動数向上、弾薬確保、防衛施設の強靱化に取り組む。また、人的基盤の強化、衛生機能の強化、防衛生産・技術基盤の維持・強化などに取り組む。

具体的な防衛関係費の所要額については、次節を参照。

**参考** 図表Ⅱ-3-1-1（令和6（2024）年度防衛力整備の主要事業（防衛力の抜本的強化にあたって重視する7つの分野））



今後5年間で整備する装備品の例（イメージ）  
資料「なぜ、いま防衛力の抜本的強化が必要なのか」から抜粋





資料：なぜ、いま防衛力の抜本的強化が必要なのか  
URL：<https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html>



資料：令和6（2024）年度予算の概要  
URL：[https://www.mod.go.jp/j/budget/yosan\\_gaiyo/index.html](https://www.mod.go.jp/j/budget/yosan_gaiyo/index.html)



図表Ⅱ-3-1-1 令和6（2024）年度防衛力整備の主要事業（防衛力の抜本的強化にあたって重視する7つの分野）

<p>スタンド・オフ 防衛能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○12式地对艦誘導弾能力向上型の開発（地発型・艦発型・空発型）・量産（地発型）</li> <li>○島嶼防衛用高速滑空弾の研究</li> <li>○島嶼防衛用高速滑空弾（能力向上型）の開発</li> <li>○極超音速誘導弾の開発</li> <li>○新地对艦・地对地精密誘導弾の開発</li> <li>○JSM、JASSMの取得</li> <li>○トマホークの取得1年前倒し など</li> </ul>	      <p>※いずれもイメージ</p>
<p>統合防空ミサイル 防衛能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イージス・システム搭載艦の建造</li> <li>○03式中距離地对空誘導弾（改善型）能力向上型の開発</li> <li>○SM-3ブロックⅡA、SM-6の整備</li> <li>○FPS-5、FPS-7、JADGEの能力向上</li> <li>○移動式警戒管制レーダー（TPS-102A）の取得</li> <li>○GPIの日米共同開発 など</li> </ul>	   <p>※いずれもイメージ</p>
<p>無人アセット 防衛能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○UAV（中域用）機能向上型（6式）の取得</li> <li>○UAV（狭域用）（41式）の取得</li> <li>○USV（供試器材）の試験的運用</li> <li>○戦闘支援型多目的USVの研究</li> <li>○輸送用UAV（中型）の実証</li> <li>○無人水陸両用車の開発 など</li> </ul>	   <p>※いずれもイメージ</p>
<p>領域横断 作戦能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衛星を活用したHGV探知・追尾などの対処能力の向上に必要な実証</li> <li>○静止軌道間光データ中継実証</li> <li>○SDA衛星の整備</li> <li>○リスク管理枠組み（RMF）の実施</li> <li>○サイバー専門部隊の体制拡充</li> <li>○サイバー要員の教育基盤の拡充</li> <li>○ネットワーク電子戦システム（NEWS）（1式）の取得</li> <li>○対空電子戦装置（2式）の取得</li> <li>○高出力マイクロ波（HPM）に関する研究</li> <li>○電波情報収集機（RC-2）（1機）の取得</li> <li>○装輪装甲車（人員輸送型）AMV（28両）の取得</li> <li>○16式機動戦闘車（19両）の取得</li> <li>○固定翼哨戒機（P-1）（3機）の取得</li> <li>○回転翼哨戒機（SH-60L）（6機）の取得</li> <li>○護衛艦（2隻）、潜水艦（1隻）、補給艦（1隻）の建造</li> <li>○戦闘機（F-35A）（8機）、戦闘機（F-35B）（7機）</li> <li>○戦闘機（F-15）の能力向上 など</li> </ul>	    <p>※いずれもイメージ</p>
<p>指揮統制・ 情報関連機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指揮統制機能の強化</li> <li>○情報収集・分析等機能の強化</li> <li>○認知領域を含む情報戦などへの対応 など</li> </ul>	
<p>機動展開能力・ 国民保護</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機動舟艇（3隻）の建造</li> <li>○輸送ヘリコプター（CH-47）（17機）の取得</li> <li>○多用途ヘリコプター（UH-2）（16機）の取得</li> <li>○民間輸送力活用事業（PFI船舶）</li> <li>○各種トラックの取得 など</li> </ul>	  <p>※いずれもイメージ</p>
<p>持続性・強靱性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○継続的な部隊運用に必要な各種弾薬の取得</li> <li>○装備品の維持整備</li> <li>○火薬庫の確保</li> <li>○自衛隊施設の抗たん性の向上 など</li> </ul>	  <p>※いずれもイメージ</p>